

## 第4回 地域の意見を返す会

### ～三春ダム見学会2～

第4回目となる「地域の意見を返す会～三春ダム見学会2～」を去る1月15日（土曜日）に31名の方の参加により開催いたしました。

今回の意見を返す会は、本川前ダムと柴原資材置き場（流木等仮置き場）のダム施設の見学をとおして、出水の度にダムに流れてくる流木活用アイデアの意見交換を目的に実施しました。



柴原資材置き場見学状況



意見交換状況

見学会当日は小雪の降る中での見学となりましたが、みなさん熱心に見学していただき、特に柴原資材置き場では流木をチップにしたものへのさまざまな質問や意見を聞くことが出来ました。施設見学の後は、自然観察ステーションで流木活用アイデアの意見交換が図られ、意見交換からEM菌を使用しての堆肥化試験などの意見が出されました。

また、「NPO 法人地球環境共生ネットワーク」の佐瀬さんよりEM菌による河川浄化事業についての事例報告があり、EM菌活用方法などの活発な質疑応答がなされました。

今後は、流木の活用試験を行う予定としております、さらには、さくら湖水源地域ビジョン策定に向け、策定委員会の立上げ、上・下流交流活動などを実施していく予定となっておりますので、みなさんのご参加をよろしくお願いいたします。

## 工事現場の安全パトロールを実施

1月12日（水）三春ダム管理所事故防止対策協議会では、工事事務防止の徹底を目的として、第1回 安全パトロールを実施しました。

管理所側9名、請負業者側23名で現在稼働中の「三春ダム堤体下流修繕工事」の工事現場の点検を行いました。



三春ダム堤体下流修繕工事現場  
堤体上から撮影

当日は、この冬一番と思われる寒さで、時折、吹雪となる厳しい天気となりましたが、参加者は現場内各所について入念な点検を行い、その結果を点検表に書き込んでいました。その後、管理所内で検討会を行い、良かった点・改善すべき点について、活発な討議がありました。



管理所内の検討会の様子  
工事事務防止のための活発な意見交換を行いました。



堤体直下の工事現場の様子

今回の安全パトロールの点検結果を工事事務防止に生かし、今後も無事故で過ごせるよう、引き続き監督職員、請負業者のみなさんのご協力をお願いいたします。



実際行われている工事現場の安全点検をそれぞれ  
チェックシートを持ち点検確認しました。



実際に工事現場に行くには、緑色の網で囲ってある高さ21mもある昇降足場を通らなくては行けません。狭くて急な上に濡れて滑りやすい階段を中腰で一步一步慎重に降りて行きました。安全パトロールに参加した人は足が筋肉痛になる人、腰が痛くなる人続出！日頃の運動不足を実感させられました。毎日この足場を上り下りし、寒い現場で工事を行っている作業員のみなさんのご苦勞を少しだけ体験することが出来たと思います。作業員のみなさん 本当にご苦勞様です。

## 滝桜の雪害状況

1月15日から降り続いた重く湿った雪が三春町では60cm～80cm積もり、この大雪で三春町のシンボル『滝桜』の枝20本余りが折れてしまいました。

滝桜は樹齢1,000年以上ともいわれ日本三大桜の1つに数えられています。折れた枝の中には長さ約3mの枝もありました。

「今年の春 開花するのか、姿が変わってしまうのでは？」と心配しましたが、樹木医の診断の結果

「花芽は去年の内に付けていて今年も開花するし、折れた枝の下から新しい枝が出てくるので10年位で前とほとんど変わらない姿に戻るでしょう。」と・・・この結果を聞いて地元の人々も「ホッ」とひと安心しました。



2005.1.18 撮影  
近所では枝の折れる音が「ミシッ、ミシッ」と響き渡り幹の近くには折れた枝が無惨に散らばっていました。



遠くに三春ダムが見えます。これから大滝根川に身を清めに行きます。



ウォ～！つめて～！  
気合いを入れて大滝根川に入っていきますが、ブルブル震えてさむそ～！！

なくなり泥まで掛け合うことから別名「泥かけ祭り」とも言われます。今年の水掛祭りは、年末から降った雪が積もり、小雪が散らつく中で行われました。

## 西方水掛祭

三春町西方地区で毎年お正月元旦に行われるみそぎの行事「西方水掛祭り」をご紹介します。無病息災、五穀豊穡、子孫繁栄を願うこの水掛祭りは歴史が古く、今から400年前とも600年前からとも言われています。昔、村に疫病が流行ったとき行井戸から白い霧が立ち上がり、まもなく疫病が治まり村全滅の危機から救われたことから、村人たちは「鎮守 塩釜神社のご加護に違いない。」と感じ陸前



### 水掛祭参加者からひとこと

水を掛け合っている最中は「冷たい」というより「痛い！」です。体に水が突き刺さる様な感じですが、風が吹いて雪が降っているときはとくに痛いんですよ・・・





平成9年12月  
クレストゲート  
全門放流

Q1. 試験湛水ってなに？

A. ダム施設完成後、ダムに水を貯めて、ダム本体や貯水池の安全性を確認することを目的として行われるものです。具体的には、水が漏れないか、ダム本体、放流設備等の各種施設が正常に稼働しているか、ダムは変形していないかなど実際に操作、点検し調査を行います。

三春ダムでは、平成8年10月から平成9年12月まで1年以上かけ、さくら湖に水を貯めて試験湛水を行いました。



平成9年秋  
中郷小学校側から撮影した  
さくら湖と春田大橋です。  
さくら湖に水がたくさん  
貯まっていますね。



阿武隈川上流 児童図画コンクール 入賞作品展 開催中

三春ダム資料館では、平成16年度「阿武隈川上流児童図画コンクール」入賞作品展を3月24日（木）まで展示しています。図画部門（28点）、ポスター部門（31点）の全59点。子供たちのイキイキとした作品の数々を是非ご覧下さい。また、ホームページでも一人一人の作品をご紹介します。



図画部門  
協議会長賞  
特選  
福島市立平石小学校  
2年 斎藤 美凜



ポスター部門  
協議会長賞  
特選  
郡山市立日和田小学校  
5年 樽川 知枝



編集後記

今年の冬は本当に寒いです。昨冬は「福島って暖かいなー、やはりここは東北じゃない」と、勝手に思ってましたが、ごめんなさい。福島は間違いなく東北です。まだ、春の息吹は感じられませんが、今年はスギ花粉の量が並でないらしいです。私は結構な花粉症なので、今からシソの実エキスを毎日飲み、万全の体勢で望む所です。花粉が飛散してからでは遅いらしいので、お心あたりのある方は先手必勝、準備はお早めに。

電気通信係 西村

自然観察ステーションからのお知らせ

一星を見る会

土星のリングをご覧下さい

2月11日（金）、19日（土）、25日（金）

午後7～9時

一冬の野鳥観察会

双眼鏡のない方は、貸出します

2月13日（日）

午前10～12時

～暖かい格好でお越し下さい～

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局  
三春ダム管理所

皆様のご意見や情報の提供をお待ちしています。

〒963-7722 福島県田村郡三春町

大字西方字中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145

FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/miharu>